

職員と看護師 避難所に派遣

総社市とAMDA

広島市の大規模土砂災害で21日、総社市など岡山県内から現地へ、救援の人員や物資が送られた。

総社市は、市職員4人が、被災地連携支援協定を結んでいる国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市北区伊福町）の看護師1人とともに朝、物資を積んだ2トトラックとワゴン車で分乗して総社市役所を出発。午後1時半ごろ、広島市安佐南区八木の避難所に到着した。

持参した飲料のほか、避



又援物資をトラックに積み込む総社市職員ら

難所でニーズのあった湿布と虫よけスプレーを現地で調達して引き渡した。看護

その場で必ず当たる!!

アンケートプレゼント 実施中

抽選

詳しくはホームページへGO!!



山陽新聞 岡山 住宅展示場

岡山市南区藤田673 TEL.086-239-3434

住まい咲く CLICK!

師は広島市の保健師とともに、被災者の健康チェックに当たった。5人は夜にいったん総社市へ撤退。22日

以降の活動は未定という。同市は昨年12月に施行した大規模災害被災地支援条例を初めて適用し、確保していた予算で費用を負担する。

また岡山市消防局は、20日に現地入りした緊急消防援助隊の第1陣と交代する第2陣49人を派遣。岡山県は消防保安課の職員1人を現地との連絡員として送り出した。

このほか、井原市のボランティア団体「サーチ・アンド・レスキュードッグ吉備アウフ」が育成した災害救助犬2匹と、佐藤委子代表ら3人が20日夕、広島市入りし、行方不明者の捜索に当たっている。